

発行所 こだいらの未来を考える会
代表 岩本 誠 〒187-0042
小平市仲町210-2-203
小平市議会議員 立憲民主党所属
https://kodairaiwamoto.com
kodairaiwamoto@gmail.com
090-1269-2770

こだいら未来新聞

2024年(令和六年)

4月号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan



岩本 誠 議員

3月定例会一般質問模様 小平市役所本会議室

廃食油を収集し、ジェット機の燃料に

岩本市議が考える資源循環について

同議員は、令和六年三月議会一般質問で、廃食油を活用して飛行機を飛ばそうという国家的プロジェクトの動向を説明し、小平市でできることを提案した。福祉の点からはシニア向けスマートフォン利用実態が何かが課題か、そして国、都、市区町村と民間でできること、やるべきことを整理した。

持続可能な航空燃料 SAFとは？

持続可能な航空燃料(SAF)の原料として特に、廃食油や廃プラスチックが注目され始め、メリットとしては①二酸化炭素の排出削減②既存インフラが

使える③原料が身近にある、といわれている。日本での動きも活発化しており、令和六年に製造設備の建設完了、七年から製造開始が予定されている。また東

京でも令和六年度予算で廃食用油の回収を推進するため、区市町村や民間企業と連携し、SAF製造へ繋げるサプライチェーン構築を

支援するとともに、京都市ではリサイクルセンターや児童館で一部回収されているが、廃棄されているものも多い。また給食センターの廃食油の再利用にも可能性は残っている。

都内の廃棄物を使った製造技術の開発に取り組み企業と連携し、製造所へ搬送するルート構築に予算計上している。この中で燃料の原料として廃食油が注目されている。

廃食用油回収システムの現状と提案

回収元	周期	小平市の現状	具体的方法(赤部分提案)
①市民から(自己持ち込み)	常時設置	リサイクルセンター・児童館3か所	回収拠点を増設(東京都の補助あり)、回収方法も改善し機運向上 例→市役所、東部出張所、西部出張所
②市民から(自己持ち込み)	都度	リサイクルきゃらばん	
③市民から(自治体が回収)	定期	実績なし	通常の資源・ゴミ回収に合わせた回収
④給食センター小学校給食施設から	常時設置	今回確認	一定量の排出が見込まれるので回収効率が高い、SAFへの流用を検討 環境教育にも効果あり
⑤イベントから	都度	環境フェスティバル等で実施	食材イベントに回収機能を廃食油を埋め込む
⑥飲食店から	定期	廃油処理事業者等へ個別対応	

岩本市議一般質問参考資料より引用

まずは、廃棄されているものや海外に輸出されているものを国内で有効出来る仕組みを作り、楽しく希望をもつて資源回収できる手立を考えていくことが肝要であろう。

郵務省は料金を引き上げ

総務省は令和五年十月十八日、25グラム以下の封書を現行の八十四円から百十円に改

正する省令案を発表した。今秋にも郵便料金値上げが予定されている。この影響が小平市で最低でも二千八百万円を超えることが判明した。今から郵便物を①やめる②減らす(まとめ)③他の手段に代替する④そのままにするなど仕分けをし、コストを抑制することが肝要。圧着型文書に変更するのもいい方法である。

デジタルデバイス解消に必要なのは

デジタルの恩恵を受けられる層と受けられない層の情報格差(デジタルデバイド)が問題視され、特にシニア世代へのデジタルデバイス解消が必要となっている。そこには、4つの問題として①技術的な理解の欠如②必要性の認識不足③寄り添ったサポート体制の欠如④セキュリティへの懸念があると訴えた。併せて市内の現状と課題を明確にした。課題として①ラインの活用拡大についてのサポート不足②マイナンバーカードの保有率はあがっ

たがその活用が進んでいない③高齢者をサポートする部署に十分な推進がない等あげ、解決策としてシニア情報アドバイザー等の資格者を育成することや相談窓口を設けることを提案した。また現在、公民館で開催されている高齢者スマートフォン教室は一定の効果を得ている。今後は一歩進んだニーズにあった、例えばはじめての新NISA講座やマイナンバーカード活用方法等、旬にあつたものを加えていくことが望まれる。

編集後記



▽先日としまえん跡地にオープンしたワーナーブラザーススタジオツアー東京に行ってきた。映画「ハリ・ポッター」シリーズのセットの数々があり、その世界観が楽しめます。撮影も可能ですが、室内全体に暗いので、明るめのレンズもっていきましょう。極めつけは、自分が登場したハリポッタームービーが創れます。寒くても雨が降っても室内が大半なので十分楽しめます。▽特に大規模プロジェクトは完成までに時間がかかるため、途中で前提条件が変わることもあったり、担当者が入れかわったりすることから誤解を生むこともある。ここで①なぜこう決まったのかという②最新状況とスケジュール、この2点の見える化が必要になる。経緯を共有して、ステークホルダーのやる気スイッチをいれ間違えないことも大切である。

新札発行に向けて

令和六年七月新札発行で自動販売機、券売機、各店舗のレジコーナーでも準備に余念がない。今回は、渋沢栄一氏が一万円札に、五千円札に、津田梅子氏が印刷される。小平市ゆかりの人物である、津田梅子氏の知名度をお借りして小平市の活性化を求める議員も多い。渋沢栄一氏ゆかり

の深谷市の動きを確認すると近代日本経済の父といわれるだけあり、その取組には、圧倒される。渋沢氏に関連するふるさと納税返礼品は五十件を超えている。さて、小平市はどうかとは思いますが、ふるさと納税返礼品には、津田梅子氏ゆかりの商材はゼロ件と残念な状況である。今後七月に向け



2024年7月3日
発行開始

あと 日

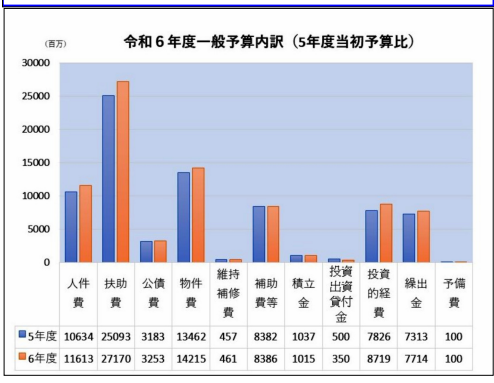
深谷市ホームページから引用

- A3またはA4サイズで印刷してください。
- 枚数、金額12本にカットして折り込みを入れる。
- 郵便物は、切込みみかカードの4つの角を差し込む。

小平市の一般会計歳出総額八百三十億円の予算案が可決した。

ひとつくりでは新規事業として①多様な他者とのかかわりの機会創出事業二千四百万円 ②医療的ケア児受け入れ三千六百万円 ③児童会・生徒会サミットの実施④自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置八千万円が盛り込まれた。特に注目したいのは③のサミットである。六月八日特別活動の日として児童会・生徒会で午前午後に渡ってサミットが開催される。児童生徒の自主性

令和6年度小平市一般会計予算



何ができるのか、お祭りだけではない。女性活躍の観点からも小平市の著名人の功績を振り返り、新札誕生と一緒に迎えたい。

自律性が育つことを大いに期待したい。

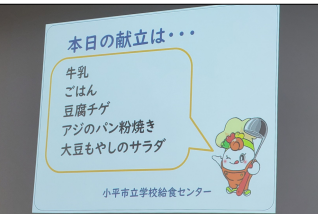
くらしづくりとしては、女性ライン相談七百三十万円②高齢者補聴器購入費助成四百万円等が盛り込まれた。まちづくりでは①鷹の台公園の整備十一億二千万円②小川駅西口地区市街地再開発事業二十二億五千四百万円③南西部地域デマンド型交通実証実験運行一千二百万円④一橋学園駅周辺タクシー乗り場の整備七千三百万円が盛り込まれた。(金額については百万円未満切り捨てで記載)

給食費無償化の動き

多摩地域でも格差

東京都が一月十一日に表明した区市町村の給食費支援の半額を補助するといったことがきっかけとなり多摩地域でも無償化が広がった。

隣の西東京市で令和六年度から市立小中学校の給食費無償化の意向が予算案で示された。所得制限や子ども人数条件もなく完全無償化することによって進んでいる。小平市では令和六年一月から第三子以降を対象に無償化を実施中で令和六年度も継続することになった。市民からは完全無償化の要望も強いが東京都からの補助があっても



給食センター見学時撮影 (2023/5/17)



なお、四億円程度の財源が必要とのことである。特に東京都内、多摩地区でも居住する地域で格差が出てきている。

そもそもこの無償化については義務教育の学費と同様ベーシックサービスとして国の責任で進めるべきものであろう。小平から発信し、国会での議論が進むことを期待する。

感銘を受けた書籍



中央公論新書から二月に発売の工藤勇一氏著「校長の力」を紹介したい。工藤先生はもともと数学の先生で外部から招聘された人でもない。千代田区麹町中学校に赴任し校長をされて今は私立横浜創英中学・高等学校の校長をされている。麹町中学校で実践したのは①服装・頭髪の始動はしない②宿題を全廃③中間・期末テストを全廃④固定担任制度を廃止など。終止一貫した考えは、何が最終目標かを常に考えることのこと。手段と目的を混同しないなど、学校現場だけでなく広く共通したノウハウが詰まった一冊である。固定担任制の廃止により問題が共有化されメンタルを壊す先生がいなくなると描かれている。完璧な人間がないように完璧な先生もいない。子どもたちに自ら課題をとらえ、自ら解決していくことこそが教育の原点なのかも知れない。

お気に入り写真

趣味のコーナー
これまで撮りためた写真を紹介します。
こだフォト部の毎月一回月例会にも参加し皆で精進しています。興味ありましたら、お立ち寄りください。
毎月第三(夜)七時、中央公民館にて。



<プロフィール>
市議会議員 岩本誠
・1963年元旦伊丹市生まれ
・高校時代ラグーマン
・ふるさと大阪府吹田市
滋賀県甲賀市
・東日本電信電話(株)OB